

100歳なめどむいけつます

1月のお誕生日で100歳を迎えられた筆保良子さん（貞永寺）に、ご入居中の施設で、鏡野町より記念品を贈呈しました。筆保さんは津山市内で7人兄弟の2番目としてお生まれになり、高校卒業後、23歳で結婚されました。2人のお子さんに恵まれ、ご夫婦で田畑をしながら、毎日原付バイクに乗って、動き回られていたそうです。ご夫婦ともに旅行が好きで、国内あちこちに旅行に行かれたのが思い出だそうです。長寿の秘訣は、大きな声で歌ったり、ゲームを楽しむことだそうです。また、好き嫌いなく何でも食べられ、特に野菜がお好きとのことでした。

現在は、施設にて若い頃から好きだった書道や絵手紙などにも取組まれており、当日はその一部を見せてくださいました。お年を感じさせない力強い文字や鮮やかな配色の心がこもった絵手紙には感銘を受けました。職員さんより、「先日も『ここに幸あれ』を誰よりも大きな声でお元気に歌われていたんですよ。大変お元氣です。」と教えていただきました。この他にも、2月に堀内恵美子さん（円宗寺）がお誕生日を迎えられ、記念品が贈呈されました。

スポーツ推進委員の活動

1月27日(土)、鏡野町中央公民館でスポーツ推進委員のニュースポーツ研修会を行いました。パラリンピックで注目を集め、人気のある「ボッチャ」の研修を行い、ルール等の確認をしました。

ニュースポーツは子どもから高齢者まで「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽に自由にならぬしめる」スポーツです。

鏡野町スポーツ推進委員会では、ニュースポーツなどのスポーツ指導を受け付けています。児童から高齢者まで、誰でもできるスポーツに興味がある方はお気軽に相談してください。



第56回 岡山県農林漁業功労者表彰

上齋原の小椋美博さん、下原の井上雅之さん、羽出西谷の山中幸子さんが第56回岡山県農林漁業功労者表彰を受賞されました。

小椋さんは、平成28年に作州かがみの森林組合の代表理事組合長に就任されました。事業の集約・拡大化など健全な組合運営を維持する経営手腕や、町の森林・林業施策の推進、地域林業の振興への多大な貢献が高く評価され、農林水産部長表彰【団体指導者部門】を受賞されました。

井上さんは、水気耕栽培等の先進技術を導入した施設トマト栽培に取組まれています。地元小学生のハウス見学の受け入れなど、若者の農業に対する理解を深める活動も実施されており、産地発展への功績が高く評価され農林水産部長表彰【農産部門】を受賞されました。

山中さんは、アルストロメリア栽培に取組まれ、地域を代表する花卉（かき）経営をされています。ラジオ番組や役場での花卉展示等で産地の魅力発信を行われており、産地活性化への功績が高く評価され、農林水産部長表彰【農産部門】を受賞されました。おめでとございます。



「企業版ふるさと納税」制度を活用した寄附をいただきました

令和6年1月、企業名非公表（本社・津山市）の企業様より企業版ふるさと納税として鏡野町へご寄附いただきました。企業版ふるさと納税とは本社が町外にある企業からの寄附を町が行う地方創生の取組に活用する制度です。この度のご寄附に厚くお礼申し上げます。

代表取締役より、「鏡野町が明るく元気になって欲しい」との想いのもと頂いた寄附は、地方創生の取組として下記の事業に活用させていただきます。

- ・「子育て世代に選ばれる環境づくり事業」
- ・「鏡野町へ新しい人の流れをつくる事業」
- ・「住み続けたい魅力あるまちをつくる事業」